

～令和4年度 横浜市成長産業立地促進助成制度～

## 環境・IT など8社の初進出等を支援



横浜市では、環境・エネルギー、IT、健康・医療など、成長分野の企業の集積を促進するため、「横浜市成長産業立地促進助成制度」により、本社や研究所の進出などを支援しています。

令和4年度は、次世代半導体や環境対応材料の開発、システム・ソフトウェアの開発、食品の分析等を営む企業、計8社の横浜進出、市内研究所の拡張を支援しました。

横浜は、27校の大学が立地し、学術・研究開発機関や技術者・研究者の数が政令市中で最も多く、企業間の連携も盛んで、イノベーションを創出する環境が整っています。

このような優れたビジネス環境を国内外に発信し、本支援制度を活用して、脱炭素、DX など今後の大きな成長が期待できる企業の集積を進め、横浜経済の持続的な発展を図ります。

### 【支援企業一覧（令和4年度）】

五十音順

企業名 企業ホームページ URL	進出地	機能 (立地形態)	分野	立地場所で行う事業
<b>いすゞシステムサービス株式会社</b> <a href="https://www.iss.co.jp/">https://www.iss.co.jp/</a>	西区 高島	本社 (初進出)	IT	情報処理、情報通信システムに関するソフトウェア及びハードウェアの開発保守
<b>エレコム株式会社</b> <a href="https://www.elecom.co.jp/">https://www.elecom.co.jp/</a>	神奈川区 金港町	研究所 (市内拡張)	IT	パソコン関連機器・デジタル機器・ネットワーク機器の企画、研究開発、評価試験、製品検査
<b>シスマック株式会社</b> <a href="https://www.sysmic.jp/">https://www.sysmic.jp/</a>	神奈川区 鶴屋町	本社 (初進出)	IT	システムエンジニアリングサービスを主体としたシステム開発及びインフラ構築
<b>株式会社中化学日本総合研究所</b> <a href="http://www.cncec-japan.com/?route=0">http://www.cncec-japan.com/?route=0</a>	神奈川区 恵比須町	研究所 (初進出)	環境・ エネルギー	環境対応材料、新素材としての高分子材料等の研究開発
<b>パワースピン株式会社</b> <a href="https://powerspin.co.jp/">https://powerspin.co.jp/</a>	西区 みなとみらい	本社等※ (初進出)	環境・ エネルギー	スピントロニクス技術を用いた次世代半導体に関する設計開発（低消費電力化等）
<b>株式会社ブレンネット</b> <a href="https://www.brainnet.co.jp/">https://www.brainnet.co.jp/</a>	港北区 新横浜	事業所 (初進出)	IT	システム開発、インフラ設計構築及び移動体通信に関する申請手続、基地局保守等
<b>ユーアイグリーン株式会社</b> <a href="https://www.uigreen.co.jp/">https://www.uigreen.co.jp/</a>	港北区 新横浜	本社 (初進出)	IT	半導体後工程測定用精密金属パーツ、樹脂加工品等の研究開発、製造・販売
<b>ユーロフィン・フード・テストング株式会社</b> <a href="https://www.eurofins.co.jp/">https://www.eurofins.co.jp/</a>	磯子区 磯子	本社・研究所 (市内拡張)	健康・ 医療	食品の機能性成分、栄養成分、重金属、ミネラル、遺伝子組換え食品、アレルギーなどの分析

※本店登記をしていない本社機能

【裏面あり】

## 横浜市成長産業立地促進助成制度の概要

- 環境・エネルギー、IT、健康・医療等の本市が指定する産業を営む企業が、市内へ初進出する場合や、研究所を市内で拡張・移転する場合に、令和4年度は床面積50㎡あたり50万円（最大250万円）※を助成。  
※市内拡張・移転の場合は、最大125万円  
※申請額の合計が予算を上回った場合、助成金は按分交付します。
- 毎年1月～12月末日（最終開庁日）までの進出に関して申請を受け付け、翌年3月下旬に助成金を交付。

お問合せ先
経済局企業誘致・立地課長 菅原 真一郎 Tel 045-671-3894

\* 本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。